



住まいるニュース  
Vol. 94

# インテリア黄金比

インテリアにこだわりはありますか？

テイストがまとまっても配色がバラバラだと意味がありません。  
快適に落ち着いた過ごしやすい空間を作るには「インテリア黄金比」が  
重要なのです。

## インテリア黄金比は【7 : 2.5 : 0.5】

### ● ベースカラー 7割

壁・天井・床などの広い面積には白系のカラーを取り入れると部屋全体が明るくなります。

天井に木材調を使用したり、床は明るめのナチュラルカラーや濃いブラウンを使用したりすることが一般的です。

#### +ポイント

狭い部屋ではベースカラーを7割確保することが難しいため、次に挙げるメインカラーをベースカラーと同色にするとまとまります。

### ● メインカラー 2.5割

テーブル・ソファ・カーテン・ラグ・キャビネットなどの部屋の中でも目立つ大きめのインテリアには、ベースカラーと同色を取り入れることでスッキリとした印象になります。

メインカラーに当てはまる全てのインテリアを同色でまとめることは難しいため、黒とグレー、ブラウンとオレンジなど類似色を2色取り入れることもおススメです。

#### +ポイント

ラグやカーテンなどに柄物を取り入れることで空間を華やかに見せてくれる効果もあります。また柄に使用されているカラーを、次に挙げるアクセントカラーに取り入れるとよりまとまりが出ます。

### ● アクセントカラー 0.5割

クッション・フラワーベース・絵画などの小物をインテリアに取り入れることで引き締まった印象になります。小さな面積ですが色を多用し過ぎると散乱して見えるので注意が必要です。

#### +ポイント

青系の色に対して黄・赤系の色に対して緑など補色を取り入れることもおススメです。

皆さんはどんな配色が好きですが、まとまりを意識してより快適なお家づくりをしましょう。

模様替えやインテリアを購入する際の参考にしてみてください。



# 建設中現場のご紹介



N様邸(福知山市)



M様邸(福知山市)



A様邸(丹波市)



モデルハウス(丹波篠山市)



D様邸(丹波篠山市)



Y様邸(綾部市)



I様邸(福知山市)



N様邸(福知山市)



O様邸(福知山市)

## 住宅事業部 STAFFコラム



今回の担当は、

ホームアドバイザー

佐野爽帆  
です。

# 子ども部屋は何畳にする？

「子ども部屋はなるべく広く作ってあげたい」と考える方は少なくありません。

ストレスなく快適に過ごせる空間が一番ですが、果たして広いことだけが子どもの為になるのでしょうか。

今回は子ども部屋 4.5 畳のメリットとデメリット、子ども部屋と家づくりについてまとめてみました。



## <4.5 畳の子ども部屋のメリットとデメリット>

### メリット1

部屋にこもりにくくリビングに集まりやすい。

### メリット2

物が突発的に少なくなり片付けや掃除がしやすい。

### デメリット1

成長するにつれ物が増えて狭く感じやすい

### デメリット2

友達を呼びにくく呼んでもリビングに集まりやすい

子ども部屋が必要な期間は、小学校高学年～高校卒業の約 8 年間で多少前後しても 10 年ほどです。

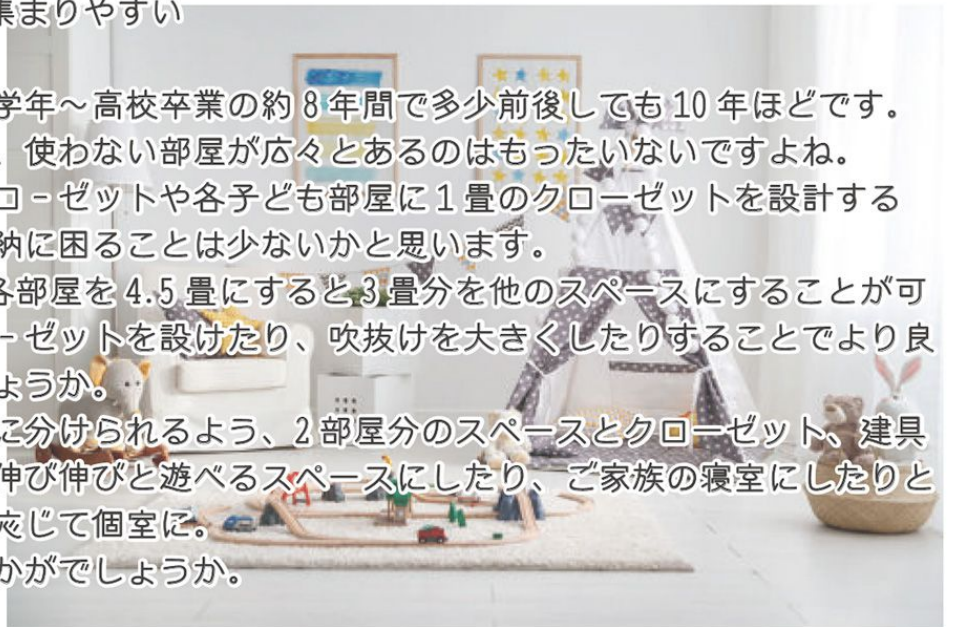
子どもが独立して空き部屋になった時、使わない部屋が広々とあるのはもったいないですね。

ヨネダのお家づくりではファミリークローゼットや各子ども部屋に 1 畳のクローゼットを設計することが多くあるので、こども部屋の収納に困ることは少ないかと思えます。

6 畳の子ども部屋を 2 つ考えた場合、各部屋を 4.5 畳にすると、3 畳分を他のスペースにすることが可能です。家族共有のウォークインクローゼットを設けたり、吹抜けを大きくしたりすることでより良い快適な空間が作れるのではないのでしょうか。

また近年は将来的に 2 つの子ども部屋に分けられるよう、2 部屋分のスペースとクローゼット、建具を設けておき、お子さまが小さな間は伸び伸びと遊べるスペースにしたり、ご家族の寝室にしたりと多様な使い方ができ成長と共に必要に応じて個室に。

子ども部屋作りのアイデアの一つにいかがでしょうか。



## ■未来を担うゼロエネルギー住宅

ウイズ  
— With —

省エネの工夫で  
消費エネルギーを減らし、  
使うエネルギーは自ら創り出す。  
究極のエコロジー住宅です。



LINEからチャット感覚で  
お問合せ・カタログ請求

